

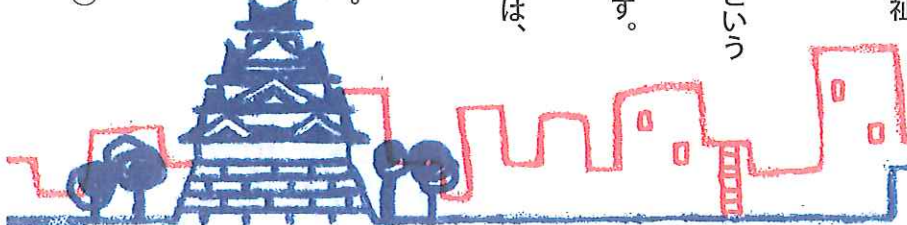


新年あけましておめでと〜うございます。

大阪府工賃向上計画支援  
事業は、大阪府内の福祉  
事業所で働く障がい  
のある人たちの  
「もっと働く機会を」という  
願いをかなえるために  
様々な支援をしています。  
ニュースレター Passo は、  
福祉事業所と企業、  
地域などをつなが  
情報を発信しています。

表紙イラスト  
作品 YELLOW  
「へび」(松永 有輝他)  
「正月いろいる」(南部たき)

TAKE  
FREE





# 工賃向上計画支援事業が はじまって9か月が過ぎました

工賃向上計画支援事業では原則すべての就労継続支援 B 型事業所において工賃向上計画を作成していただくことになりました。年度初めのおあわただしい時期にもかかわらず、多くの事業所から工賃引上げ計画シートを提出いただき、工賃の向上にむけた積極的な取り組みもたくさん見受けられました。



しかしながら、工賃引上げ計画シートを読み込んでいくと、現状を非常に厳しくとらえておられる事業所も少なくありませんでした。象徴的な言葉としてよく使われていたのが、工賃の“維持・向上”ということです。工賃を上げることは利用者さんの働く意欲の向上につながるからあげたい、しかし、厳しい状況を考えればせめて現状維持を図らなければならない、ということです。そのためには、今まで以上に現場の生産性を向上させたり、収益性の高い事業により力をいれるなど様々な取り組みを行う必要があります。

## ■ 事業所の核となる商品づくり

昨年度開設されたある事業所は、内職作業ではなく自主製品の製造販売をしたいと考えてお菓子作りの試行を繰り返されていました。しかし、設備や技術などの問題で思うような商品ができませんでした。そして、今春の工賃引上げ計画シート作成の相談会に参加され、そういった状況を相談されたことをきっかけに、経営面と技術面での支援が必要という評価になりました。その結果、経営コンサルタントと製菓の技術指導者の派遣が決定されました。

主力となる商品づくりにはいろいろな困難もありましたが、秋には事業所オリジナルのパウンドケーキが完成しました。現在は地場産の野菜を使ったお菓子づくりに取り組んでいます。商品のラインアップや販路の獲得など、まだ課題も少なくありませんが着実に前に進んでおられます。

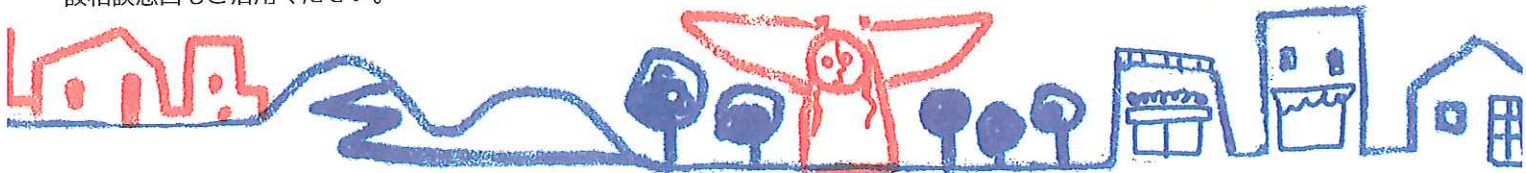
## ■ がんばる仲間との交流でモチベーションもアップ

3カ月にわたる工賃向上研究会もようやく終了しました。「治具」「商品チラシ」「店舗」の3つのテーマでそれぞれ5、6回連続開催し、多くの参加者から好評をいただくことができました。

研究会の中では講師からのレクチャーの他、グループワークや情報交換の時間も積極的に取り入れるようにしました。毎回参加される方同士で関係も深まったのではないかと思います。事例紹介でお話をいただいたある講師の方も、『参加している各事業所さんからの事例をたくさん聞くことができ来てよかった』とおっしゃっていただいたことがとても印象的でした。課題や情報を共有し、ともに考えていくということはどんな場合にも共通して有効な手段だと感じました。



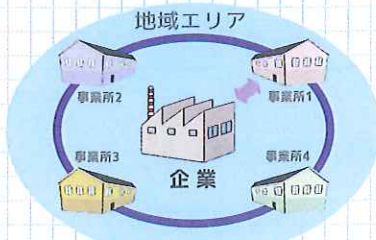
工賃向上計画支援事業における支援策は、お仕事の斡旋であったり販売機会の提供だけでなく、経営改善や技術の向上支援を行うなど、様々な支援を行っていることから、直接的な効果というものは見えにくいところもあるかもしれません。しかし、過去の統計からいろいろな支援策を活用していただいている事業所の工賃は、大阪府の平均工賃よりも高くなっています。それぞれの目標の達成に向けて支援策をうまく使っていただければと思います。常設相談窓口もご活用ください。



## おしごと状況

# 共同受注

利用者さんの数が不安定な事業所をネットワークでつなぎ、短期納期に対応しました！



4つのブロックで共同受注システムを展開し大量受注に対応しました！



2012年は、企業・団体と事業所をつなぐ販路、受発注スタッフも一新。新しい出会いや新しいシステムがたくさん生まれました。そのような中から、一緒に考え、歩んでいただいた事業所の声をほんの一部ご紹介します。

### 事業所の声 ワークセンターいまがわ

『(一社)エル・チャレンジさんを通じて、同じ地域でも関係がなかった業者とつながることができました。内職の手が欲しかった、と先方から逆に感謝されることもあり、『期待されているんだよ』という話も利用者さんに伝えることで作業へのモチベーションが上がっています。紹介してくださった業者さんからは、現在仕事が途切れずにいただけているので、『収入の安定が図れる。』のでは、という期待感があります。近隣地域との繋がりが拡がり、今後ワークセンターいまがわの内職作業、清掃活動を広げていきたいと思っております。』

### 事業所の声 心学塾作業所

オレンジリボンのお仕事をいただいた時、細かい作業だったので『メンバーさん大丈夫かな?』と思ったのが第一印象でした。ところが予想以上に自分たちで工夫しながら作業を進めていきました。片手にハンディを持ったメンバーさんも、何も苦にせずリボンを作っていました。数こなすことにより、みんな作業にも慣れていき、自信がつかスキルアップになりました。町のどこかでオレンジリボンを配っている姿を見たというメンバーさんもいて、自分たちが気持ちこめて作ったリボンが配られているのも知り、とても嬉しかったようです。

# 自主製品

表彰楯のかわりにお名前入りグラスなど、新しい商品づくりにチャレンジしました！



### 事業所の声 TOPPOI

TOPPOIではレーザー加工機を用いてアクリル・ガラス・木材等に絵柄や文字を彫刻してオリジナル作品を手掛けております。今回はガラスコップに彫刻するにも依頼されたのですが、今まで使用していなかったコップの形状(凹凸や湾曲)だったため、細かな調整が何度も必要で納得いく彫刻が出来なく、担当の利用者さんも難しいな~と言われたながらも、完成した時には次回から注文がまても大丈夫だね!と自信がついて喜んでおられました。

# 出店

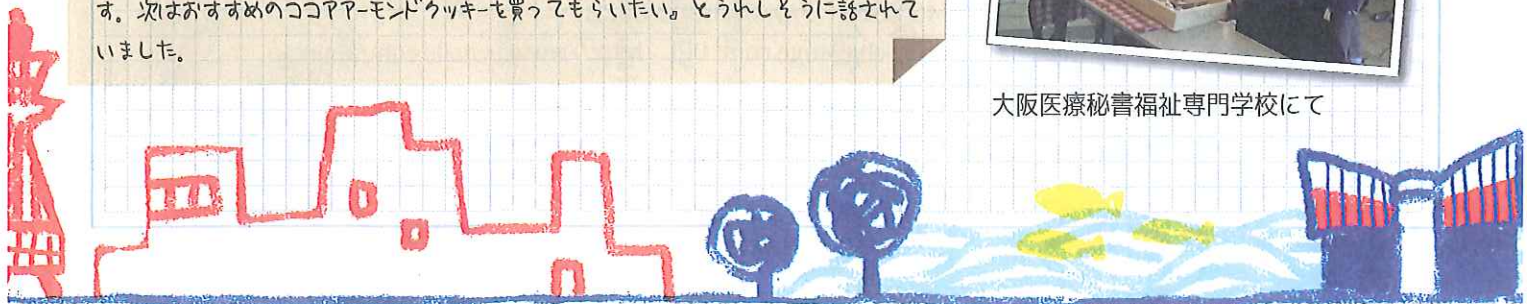
地域から市外へ。事業所の活動範囲が広がりました！

### 事業所の声 えーぜっと

今年から工賃3/5上げ計画シートを出し、(一社)エル・チャレンジさんの紹介で出店販売が増えました。準備のときは買ってもらうか不安でしたが、たかさんのお客さんが楽しそうに選んで買っていただき、お昼だけで28,000円の売り上げがありました。一緒に販売していたスタッフは『クッキーノールホーレをたくさん買っていただきよかったです。次はおすすめのココアモンドクッキーを買ってほしい。』というように話していました。



大阪医療秘書福祉専門学校にて



## 新しい年がはじまりました！

1月になると、なんとなく世の中が新鮮に感じられるのは不思議ですね。

今年は巳年。語源由来辞典によると、「巳年」とは、次の新しい生命が作られ始める年だそうです。改めて新しいアンテナを張りめぐらし、工賃向上に取り組んでいきましょう。

今、地域社会では、地場産業が衰退し商店街が低迷する中で、「地産地消」や地域課題を解決するコミュニティ・ビジネス等の取り組みが広がりを見せています。滋賀県では、生協や地元商店と福祉事業所が協力して、地域の一人暮らしのお年寄り（「買い物難民」）を対象に、出張販売を始め、注目を集めています。地域おこしや地域の課題解決の中に福祉事業所の出番を見出すことは十分に可能でしょう。

2012年は、工賃倍増計画から工賃向上計画に衣替えをした年でした。国は原則すべての就労継続支援B型事業所に「工賃向上計画」の作成を求め、都道府県はそれを基に工賃上げ目標を定めました。これからも、各事業所の主体的な取り組みがますます重要になります。2012年に引き続き、2013年も私たちはその取り組みを推進するため、工賃向上に向けた各支援策に取り組んでまいります。

### 編集後記

あけましておめでとうございます。

昨年から今年にかけて、世の中ではいろいろな出来事がありましたが、新しい一年がいよいよ始まります。私たち（一社）エル・チャレンジのスタッフは、事業所のみなさまと一緒に考え、チャレンジ（Challenge 挑戦）、チェンジ（Change 変革）、コミュニケーション（Communication 意思疎通）という3つの「C」をキーワードに工賃向上を目指しています。本年もご協力を賜り、皆さまとともに歩み、ともに前進してまいります。

今年もよろしく  
お願い致します!!



作品：そよかぜの家

### お問合せ先

一般社団法人エル・チャレンジ福祉事業振興機構

〒540-0006 大阪市中央区法円坂一丁目1番35号大阪市教育会館5階

TEL 06-6949-3551 FAX 06-6920-3522

mail kouchin@l-challenge.com URL <http://www.l-challe.com/kouchin>

